

マーク概要  
☑=対象(特記ない場合、どなたでも) ☑=日時・日程 ☑=会場 ☑=講師 ☑=費用(特記ない場合、無料)  
他=ほかの情報(「保育可」は生後5か月以上で首がすわっている子~未就学児が対象) ☑=申込方法(特記ない場合、発行日時時点で申込可) ☑=問合せ先 区HPQ 00000=区のホームページの検索メニュー ページIDから探すへ  
番号入力でページを表示 ☑=要件を満たすとせたがやPayのポイントがもらえます



区の手続きや施設・イベント案内は **せたがやコール** (午前8時~午後9時 年中無休)  
☎03-5432-3333 FAX 03-5432-3100 ●問合せフォーム 区HPQ 25858

## 令和8年(2026年)第1回区議会定例会(2月18日開催)区長招集挨拶(要旨)

### ●子育て世帯・若者夫婦世帯を対象とした住宅施策

来年度予算案に、世田谷区での生活継続を望む子育て世帯等に対し、住宅の取得や民間賃貸住宅への住み替えなど、ライフステージの変化等に応じた暮らし方の実現を応援する「子育て・若者夫婦世帯の定住応援・住み替え応援事業」を盛り込みます。子育て世帯や若者夫婦世帯が、世田谷で生活の拠点を築くという「人生の選択」を応援し、持続可能な地域の活力の維持・向上を図っていきます。

### ●教育の推進

来年度から学校教育の中で語学力等を強化するとともに、学校で学んだことを実践する場として、アメリカ合衆国・オレゴン州ポートランド市への中学生派遣(6日間のホームステイ)等の体験活動を充実させます。小学校においては、タブレットを用いて、1対1で海外の講師と英語でやりとりするオンライン英会話を小学5・6年生の児童全員に実施します。さらに中学校では、生徒にこの学びを継続させるため、AIを活用した英語教育強化事業を実施します。中学校全

学年において、授業や自宅学習でAIによる会話練習や発話評価を取り入れ、生徒が「英語を話す」環境を整えます。

### ●梅丘図書館のリニューアルオープン

羽根木公園の中にある立地特性を活かした、豊かな感性と創造力を育む図書館を目指し、新たな学びや出会い、一人ひとりに合った居場所づくりといったコンセプトのもとに、1階には、テラス付きの「カフェエリア」や創作活動ができる「ワークショップルーム」、2階には、インターネット予約が可能な約80席の「閲覧席」や、中高生世代の居場所として優先的に利用できる「ティーンズエリア」、3階には、自然を感じながら親子で読書が楽しめる「おはなしのへや」など、施設の規模を活かした多様な空間と最新の図書館サービスを取りそろえています。

### ●等々力溪谷公園

令和5年(2023年)7月に発生した倒木により、園内の大部分を立ち入り禁止とし、遊歩道も通行止めにしてきましたが、ようやく再開の見通しが立ち、3月中には全面的に開放できる予定です。これまでに、

「等々力溪谷プロジェクト」を呼びかけたところ、約5000万円の寄附と温かい応援メッセージをいただきました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

### ●民間路線バス事業者への行政支援の実施

地域の足を支えるコミュニティバスの多くが不採算路線であり、運行継続が危ぶまれる極めて厳しい状況にあります。そこで、コミュニティバスの減便を未然に防ぐため、対象となる3事業者・8路線のコミュニティバス路線に対し、来年度から運行経費の50%を補助する制度を新たに創設します。また、運転士の確保と定着を図るため、職場環境の改善に取り組む事業者への支援実施や、バス運転士の仕事の魅力発信やバスの利用促進につなげるための広報支援を行い、地域の交通インフラを将来にわたって守り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

※挨拶の全文は、[区HPQ 31465](#) でご覧になれます。また、区議会会議録(5月中旬発行予定)は、区政情報センター、総合支所区政情報コーナー、図書館などでご覧になれます。

## お知らせ

区政参加

人材募集

その他



### 世田谷区風景づくり計画改定(素案)にご意見をいただきました

9~10月に実施した意見募集では、14人の方からご意見等(24件)をいただきました。主なご意見等と区の考え方の要旨をお知らせします。

主なご意見等	区の考え方
<p>世田谷区の風景づくりにおいて、まず「電線の地中化」を重点的に進めていただきたい。</p> <p>現在、区内の多くの生活道路は狭く、頭上に張り巡らされた電線が圧迫感を与えるとともに、災害時の避難や消防活動を妨げる要因にもなっている。特に地震や火災が発生した場合、電柱や電線の倒壊は二次災害を引き起こす危険があり、区民の安心・安全に直結する課題である。</p> <p>電線の地中化は費用や工事期間の面で課題が大きいことは承知しているが、景観の改善と安全性の向上を同時に実現できる数少ない施策であり、長期的には資産価値や地域の魅力を高める投資になると考える。</p> <p>世田谷区が先導して優先地区を明確にし、国や都の補助を積極的に活用しながら段階的に整備を進めることを強く希望する。</p>	<p>都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を目的として、「世田谷区無電柱化推進計画」に基づき、必要性の高い路線から優先的に無電柱化整備を進めています。</p> <p>ご意見のとおり、無電柱化は地上機器の設置場所と電線埋設位置の確保、地元との合意形成、費用面等の課題があり、長期間にわたる事業となりますが、引き続き計画に基づき取り組んでいきます。</p>
<p>風景づくりには、比較的時間の余裕も体力もある高齢者に積極的に参加してもらえるのではないかと。反面、高齢者の体力や好奇心・意欲にはかなりの個人差がある。視力の低下等も加わり、配付物に目を通すことができるか、さらにホームページを調べて読む等の行為に至ることができるか、活動に参加できるかは、同年齢でも差が出てしまうのかもしれない。</p> <p>若い世代とは例えば、新しく住まれた方で、当初はお宅に植物が植えられていたものの、忙しく手入れが大変だからか、植栽を無くしてしまわれた例を数件、目にしている。</p> <p>どの世代においても、風景づくりは理解や参加のしやすさ(簡便・短時間)がポイントの一つである。</p>	<p>今回の計画の改定における検証・評価において、区民の風景への関心は高いが取り組みへの参加は少ないこと、風景づくり活動の担い手が減少していることを課題としてあげています。</p> <p>ご意見のとおり、風景づくりに幅広い年代の方に参加していただくため、各々の関心やライフスタイルに合わせて無理なく楽しみながら関わることができる機会や、支援する制度を提供できるよう検討を進めていきます。</p>

区都市デザイン課 ☎6432-7153 FAX 6432-7996

意見募集の結果は、[区HP](#)、[区政情報センター](#)、総合支所区政情報コーナー、くみん窓口、出張所、[まちのセンター](#)、図書館で  
ご覧になれます。いただいたご意見等を踏まえ、計画を改定し、4月から運用を開始する予定です。

[区HPQ 27557](#)

